

消化性潰瘍の薬物療法において、proton pump inhibitor という新たな波が押し寄せているとはいえ、なお当分は H₂ ブロッカーがその主体となろう。いや将来もっと新しい抗潰瘍薬が出たとしても、H₂ ブロッカーとの併用において薬物療法の工夫がなされる時代が続くのではないかと思われる。それほど H₂ ブロッカーは1つの時代を画する薬と言ってもよい。日本においても、これが用いられるようになってから既に5年が過ぎた。使って5年も経てば、いろいろなことがわかってくる。H₂ ブロッカーの出現は、潰瘍の治療効果を高めただけでなく、それがきっかけとなって、潰瘍の治療経過のきめ細かい観察、新しい手法を

用いての分析など、診断面における進歩を促した点においても、その意義は大きい。

今回の特集は、H₂ ブロッカーがもたらした潰瘍の治療、更には診断上の幾つかの重要な問題を取り上げた。

竹本教授の序説はさすがの内容である。その他の論文も力のこもった立派なもので、H₂ ブロッカー治療における今日の話題をよく捉え、具体的証拠を示して述べているので参考になる。ただ、すべてを読み終えたとき、潰瘍症の薬物療法にはおのずから限界があるといういつもの空しさを改めて感じた。

胃と腸

11月号(第21巻・第11号) 予告

発売予定 11月4日
定 価 1,700円

主題／消化性潰瘍のトピックス(2) 胃粘膜防御機構を中心に

序 説 胃粘膜防御機構

大阪医大・2内 大 柴 三 郎

主 題 胃粘膜形態と防御機構

山口大・1内 竹 本 忠 良・他

粘液の画像解析

大阪医大・2内 浅 田 修 二・他

粘膜血流の画像解析

阪大・1内 佐 藤 信 紘・他

形態学からみた細胞保護作用

阪市大・3内 小 林 絢 三・他

抗潰瘍薬の新しい評価法を求めて
—潰瘍治癒速度および再発速度の
統計学的解析

自治医大・消内 木 村 健・他

座 談 会 消化性潰瘍治療上の諸問題(2) 胃粘膜防御機構を中心に

阪医大・2内 大 柴 三 郎・他

今月の症例 虎の門病院・消 福 地 創太郎・他

初心者講座 早期胃癌の見つけ方(11)

仙台市医療センター 望 月 福 治・他

(編集頁の都合で掲載論文が若干変更になることがあります。)

胃 と 腸 (第21巻 第10号)

編 集 早期胃癌研究会

発 行 株式会社 医学書院

代 表 者 椿 孝雄

〒 113-91 東京都文京区本郷 5-24-3

☎ 受付台 (03) 817-5600

本誌編集室直通 (03) 817-5714

販売部直通 (03) 817-5659

1986年10月25日発行(毎月25日発行)

1部定価1,700円(配送料80円)

年 ぎ め 予 約 購 読 料 19,080円(送料弊社負担)

FAX (03) 815-7802

振替口座 東京 7-96693 番

印 刷 所 永和印刷(株) ☎ (03) 813-5001

広告取扱 医 界 弘 報 社 ☎ (03) 814-5771

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 5-24-3 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo. © 1986, Printed in Japan.

本誌の内容を無断で複写・複製・転載すると、著作権・出版権の侵害となることがありますので御注意下さい。

(担当) 窪田・長谷川・大竹